

辰 報

毎月三回七ノ日發行
定價壹枚貳錢郵稅壹錢
廣告料壹行壹回貳拾錢
發行所 濱田 正 夫
編輯印刷人 濱田 正 夫
大阪市南區安堂寺橋通二丁目一番地
發行所 濱田日報社

申上候

●五月雨や水に戻りし籠の鹽愈梅雨に入つたとして分蜜精糖共相場の伸力を殺がれた梅雨と云ふ懸念と嘗て理想とした値段これ等は一部の人をして利

喰及嫌氣投げの無餘儀に至らしめた。分蜜は七八九月十八圓六十七錢六月中十八圓四十七錢と押された、精糖は七月五錢と下りた、かくして現勢の非なるを思はしめた、けれども其大勢は依然として強い安ければ買いたいとは一部の聲である。

●今期臺灣産糖殆んど確定す
總計 四百八十六萬五千六百五擔
右の内五月末迄製産數
四百八十六萬九百五擔
豫想四百七十萬を超過する實に十六萬五千六百五擔である

る跳ね返しに市場緊張精糖六月二十三圓八十錢七月二十三圓九十五錢分蜜七八九月十八圓八十錢六月十八圓五十五錢と戻つた。

梅雨に入りては相場安からねばならぬとは市中及地方一般豫想の一致點であるだけ此豫想は甚だ薄弱であると言へない事も無い實際地方一般の手當では微弱である入梅を目當ての相場下押し際し一齊買付きは反て相場を強めしむるものではあるまいか機を見るに敏なるは勝利者の常である安いか高いか熟考を要す。

●黒糖類は八十六七度の入梅温度に其活動をそがれ休養の時期は來れりとして居眠りを始む琉球二歩十錢六厘見當されど賣物薄の市場は一度彼れの元氣を恢復するの時覺めたる獅子の咆吼となるこの時に至り更に驚かざるの準備がなければならぬ。

●下表に見るに世界産額ビート總計に於て一九一五、一六年度六百五十四萬六千噸は其前年度に比し百七十四萬三千噸の減收にして前々年度に比し二百三十六萬二千噸の減收である言ふ迄もなく驚くべき戰禍の結果である。
百七十四萬三千噸即二千九百六十五萬六千七百擔今期臺灣産糖の六倍である
甘蔗糖に於ては年々増收一九一五、一六年度は前年に比し三十五萬三千噸前々年度に比し四十三萬八千噸の増加を示して居る。

●玖瑪は一時軟弱に見受けしも一昨ニ

ニューヨーク電報は六月積五弗三十七仙五七月積五弗五十仙にして氣配向上先高人氣とある、想ふに英國買付けの再び近づきつゝあるを報するのではあるまいか。
試みに英國の買付け時期は何れの時に現はれるやを見るこ
本年持越及既買付數合計
一、一、一〇、〇〇〇噸
とせば英國消費昨年通り一ヶ月十五萬噸として八ヶ月間の消費量となる依て九月以後本年中の消費量は六十萬噸となる勘定である、處で嘗て述べた如く英國嚮領地より二十五六萬噸の供給があるのであるが不幸にもモリシアスは暴風の爲め二割五分減即十二萬噸以上の減收豫想であるから其れだけ供給減となり總計に於て十三、四萬噸の供給となるに過ぎない故に英國は尙ほ七十萬噸以上を主として玖瑪、瓜哇に買はねばならない其上全時に佛國への供給數廿萬噸以上を準備せねばならないとすると七月頃より再び英國の買付けを始めるものと見ねばなるまい此見解より

して軟勢であつた玖瑪糖の跳ね返しとなり先高の旨を傳へたのは偶然では無いと肯れるでは無いか。

而して玖瑪より瓜哇へと人氣は轉回して行かねばならぬ次に瓜哇より日本へと相場の波紋を描くと知りたなら内地糖界の多忙となる當然であると肯れない事でも無い。

●英領印度に於ける一九一六年度甘蔗

印度は甘蔗栽培に最も適當なる廣大の面積を有せるに不拘今尙製糖事業に於ては甚だ幼稚なものであるのは今更贅言を要しない。

而して外糖の輸入は年々其數を加へて居る内地産業に對する組合の僅少にして貧弱なる且印度國民の有せる一種の偏見と常に起る早懸等は相連呼して印度糖業發達を沮害して居る。

最近印度政府の發表せる報告によれば

一九一六年度産額

二、六三二、〇〇〇噸

前年度に比較せば

一七五、四二七噸の増加

即七歩の増收を示した

此産糖の増加は全く歐洲の大戦亂と各種原因による價額の暴騰に起因せねばならぬ。

瓜哇及モリシアス糖は新式方法を以て生産に従事し印度市場に於て全國産糖に比し安價に販賣されて居る而して歐洲戦亂勃發以前に於ては輸入糖は盛に其勢力を振ふて内地糖を壓迫したけれども戦亂以來外糖輸入の僅少と價格の騰貴とは遂に内地耕作を奨励して漸く増加の好結果を見るに至つた。

即一九一五—一六年度

甘蔗植付面積

二、三二七、〇〇〇エーカー

一九一四—一五年度

甘蔗植付面積

二、三二一、〇〇〇エーカー

増加 六四、〇〇〇エーカー

の成績を示して

●印度輸入數

自一九一四年四月一日起至一九一五年四月一日
至一九一五年一月一日起至一九一六年一月一日

英國 二五七

(單位噸)

五月十二日付倫敦通信

世界産糖 (單位千噸)

	1915/16	1914/15	1913/14	1912/13	1911/12
獨逸	1,720	2,500	2,720	2,732	1,505
奧國	1,050	1,620	1,703	1,920	1,154
佛露	0,200	0,336	0,895	0,979	0,517
露國	1,700	1,990	1,750	1,384	2,059
ベルギー	0,120	0,203	0,231	0,300	0,246
和蘭	0,250	0,303	0,230	0,317	0,236
其他	0,740	0,678	0,804	0,709	0,530
歐洲合計	5,780	7,620	8,243	8,341	6,279
亞米利加	0,766	0,659	0,665	0,624	0,541
世界産額合計	6,546	8,289	8,908	8,965	6,820
甘蔗糖世界産額合計	10,306	9,952	9,868	9,233	9,067
總計	16,852	18,242	18,777	18,198	15,887

獨逸	奧國	佛國	瓜哇	支那	日本	モリシアス
一三三	二、四四	一四	二五、三〇七	一、六七六	二五	六、四〇六
二六	二〇	—	三九、四四五	一〇、九三三	八、七五五	四九、四七七
其他	一、五五五	四、六六六	其計	三、六七七	四、四四四	其計
其計	三、六七七	四、四四四	日本よりの輸入は漸次増加を示し二十	五噸より一躍して八千七百九十五噸に	飛ぶ本年二月以後の輸入未だ知るを不	得と雖も其の數の増加すべきは疑無き
處である。						

●大日本製糖會社製品

大阪倉渡シ〔壹俵百斤入〕
〔轉ガンシ值段〕

SA	五温	廿五圓七拾錢
SK	五温	廿四圓七拾錢
SL	五温	廿參圓九拾錢
SB	四温	廿四圓七拾錢
SR	四温	廿四圓貳拾錢
ST	三温	廿參圓七拾錢
SW	三温	貳拾參圓參拾錢
SX	三温	貳拾貳圓九拾錢
SU	三温	貳拾貳圓六拾錢
SO	三温	廿貳圓五拾錢

一封度ニ付 廿參錢
角砂糖廿五封度入

御注文は成行にて御勉強致候

●臺灣製糖神戸製品

〔大阪又ハ神戸倉渡シ〕
〔壹俵百斤轉ガンシ〕

MMM	四温	貳拾四圓 拾錢
000	四温	貳拾參圓七拾錢

●臺灣分蜜糖 大阪倉渡シ
直積

ESB	新	鹽水港製糖	拾八圓六拾錢
TEA	新	帝國製糖	拾八圓六拾錢
LSB	新	林本源製糖	拾八圓六拾錢
TAB	新	臺灣製糖	拾八圓七拾錢
SAA	新	新興製糖	拾八圓六拾錢
MS	新	山明製糖	拾八圓六拾錢
NSA	新	新高製糖	拾八圓六拾錢
TOB	新	東洋製糖	拾八圓七拾錢
TBB	新	臺灣製糖	拾八圓四拾錢

新MS^B 山明製糖 拾八圓貳拾錢

DN	二番糖	拾參圓七拾錢
NSM	二番糖	拾貳圓七拾錢
TOM	二番糖	品
SHB	二番糖	品
BT	二番糖	品
TOM	赤特上	拾五圓
EBB	二番糖 ^{特上}	拾四圓
TEC	二番糖	拾參圓
TOC	臺灣赤糖	拾參圓參拾錢
NE	同	拾參圓 拾錢
マニラ糖	大阪倉渡シ	
檜入	二枚壹俵三、四十斤入	
飛切	參號	拾參圓參拾錢
上	參號	拾貳圓四拾錢
次	品	拾貳圓
アンペラ	百斤俵	拾五錢高

●瓜哇赤双目糖(袋入)

上品 品 切

●臺灣白糖

臺灣白双A印 廿參圓九拾錢

同 白糖EK印 貳拾貳圓九拾錢

●糖蜜

△糖蜜 九圓五拾錢

日出全 九圓參拾錢

●北海道片栗粉

一等粉 七圓四拾錢
大阪倉渡シ

マカロニー 拾參圓貳拾錢

●素麵

六十ポント入二箱 拾參圓貳拾錢

●赤友白髮

五圓

綠友白髮 四圓參拾錢

二十七圓五拾

角(長四二二番特長四六九五番)市外用

場相糖黑店商木鈴



御發電は凡て(オサカス、キ)宛にて着電致し候別に町名不記共宜敷御座候

黒糖び及白下地

(但し歩合口錢として五歩半掛り可申受候)

全	壹歩半	拾錢	四厘
全	貳歩	拾錢	九厘
全	壹歩	九錢	八厘
全	壹歩半	拾錢	參厘
全	壹歩	拾錢	七厘
全	壹歩	九錢	八厘
全	壹歩半	拾錢	貳厘
全	壹歩	拾錢	六厘
全	壹歩	拾錢	壹厘
全	壹歩半	拾	壹錢
全	壹歩	拾壹錢	五厘
全	壹歩	拾錢	貳厘
全	壹歩半	拾錢	八厘
全	貳歩	拾壹錢	壹厘
全	貳歩半	拾壹錢	六厘

全	壹歩半	拾錢	壹厘
全	壹歩	拾錢	五厘
全	壹歩半	拾錢	八厘
全	壹歩	拾	錢
全	壹歩半	拾錢	四厘
全	貳歩	拾錢	八厘
全	壹歩	九錢	九厘
全	壹歩半	拾錢	參厘
全	貳歩	拾錢	六厘
全	壹歩	拾參圓	拾錢
全	壹歩半	拾參圓	七拾錢
全	壹歩	拾參圓	七拾錢
全	壹歩半	拾參圓	七拾錢

古糖格安品

(白下糖ハ歩口錢ナシ)

北陸奥羽北海道向

二百目斤建本造直段 (風袋三貫八 百目引)

新	拾四圓六	拾錢
新	拾四圓貳	拾錢
新	拾五圓	拾錢
全	拾四圓四	拾錢
全	拾參圓九	拾錢
全	拾參圓四	拾錢

右之外規定の通荷造賃申受候

大阪市南區末吉橋通二丁目 鈴木商店黒糖部

昨年祝融の禍に罹りて以來銳意之れが再築に努力せし大里製粉も頂來斬やく完成の域に達して茲に再び新界の壇上